

# 寿楽つうしん

平成23年11月号

平成23年11月発行

発行 老人福祉センター菊名寿楽荘  
発行責任者 富田 公道  
横浜市港北区菊名3-10-20  
TEL 045(433)1255

山里は冬ぞ寂しさまさりける

人目も草もかれぬと思へば

源宗子

## 芸術の秋、来る！！

暑い夏も終わり、木々の葉っぱが心なしか、ほほ紅を指した様に感じられるようになってきました。秋もそろそろ本番ですね。秋といえば、皆さんは何をイメージされますか？「天高く馬肥ゆる秋」「食欲の秋」でしょうか？いやいや太るのは困る。ならばダイエットのために運動、「スポーツの秋」ですか？

11月3日は文化の日です。文化の日は、**国民の祝日に関する法律**第2条によれば、「自由と平和を愛し、**文化**をすすめる」ことを趣旨としています。**博物館**の中にはこの日に入館料を無料にしたり、様々な催し物を開催する所もあります。

音楽や演劇を鑑賞するもよし、詩を作ったり、絵を描くもよし。ぜひ、皆さんもこの機会に芸術に親しんでみませんか？ 菊名寿楽荘でも水彩画教室等芸術活動にいとめる教室もありますし、短期講座でフラワーアレンジメントもあります。芸術は、日頃の憂さを忘れさせ、心を豊かにします。「寿楽つうしん」も毎号和歌の解説を特集していますが、和歌もよし、俳句もよし、身近なところから始めてみましょう。まず、一句。

秋深し、隣は何をする人ぞ！

## 今月の和歌の解説

【解説】山の村の冬は一層さびしさがつよく感じられることであるよ。訪れてくる人もなくなり、周囲に生えている草もすっかり枯れはててしまったと思うと。

【源 宗子】みなもとのむねゆき。三十六歌仙のひとり。光孝天皇の孫で、是忠親王の子。894年、縦四位下に叙されて臣籍に下り、源姓になる。それから地方官になり、丹波、摂津、三河、信濃、伊勢などで権守をつとめた。そして兵部大輔、右馬頭、相模守も歴任した。でもこれだと、天皇の孫としては不満だったのだろう。

## 11月23日は、国民が互いに感謝を！ 勤労感謝の日

1948年に「勤労を尊び、生産を祝い、国民互いに感謝しあう」ことを趣旨として制定された国民の休日です。

勤労感謝の日は戦前「新嘗祭(にいなめさい)」と呼ばれる儀式が行われる日でした。「新嘗祭(にいなめさい)」とは、天皇がその年に収穫された新穀や新酒を天照大神をはじめとする天地の神に供え 農作物の恵みに感謝する式典でした。現在では、「勤労」は至極当たり前のことと思われがちですが、元気で働けることに感謝し、また家族が元気で仕事につけていることを喜び合いたいものです。





# 11月のスケジュール



日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
		中国語会話 古城と古寺散策	椅子に座って エクササイズ	詩吟 健康体操	英会話 水彩画 健康麻雀	
6	7	8	9	10	11	12
卓球開放	太極拳	中国語会話	健康相談	歌声教室 詩吟 健康体操	編物教室 英会話 健康麻雀	韓国語入門
13	14	15	16	17	18	19
卓球開放	絵手紙	中国語会話 古城と古寺散策	椅子に座って エクササイズ 栄養相談	詩吟 健康体操	英会話 水彩画 健康麻雀	韓国語入門
20	21	22	23	24	25	26
卓球開放	太極拳	休館日	健康相談	歌声教室 健康体操	編物教室 健康麻雀	韓国語入門
27	28	29	30			
卓球開放	絵手紙					

## 保健福祉相談・栄養相談 (無料)

保健福祉相談 毎月第2・第4水曜日  
担当保健師 岸本節子先生

栄養相談 毎月第3水曜日  
担当栄養士 松田美智子先生

相談時間 12:30~13:00 3階大広間  
13:00~14:30 2階相談室

相談内容 菊名寿楽荘利用者の健康維持のため、  
菊名寿楽荘利用者の皆さんの体調管理  
や食事管理に関する福祉相談を行っています。  
お気軽にご相談ください。



## 短期講座 生徒募集!



フラワー  
アレンジメント

申込期間 11月1日~  
募集人数 15名(先着順)  
開講日程

12月5日(月) 13:00~  
クリスマス用

12月19日(月) 13:00~  
お正月用

材料費 1回 1,500円

### [編集後記]



早いもので、今年も11月、11月は陰暦で『霜月』と表されますが、霜月とは「霜降り月」の略が有力とされています。ただ、昨年もそうでしたが、年々、霜の降りる時期が遅くなっています。これも暖冬の影響でしょうか。やはり、寒い季節は寒くないと季節感がなくなりますよね。枕草子にもありますが、「冬はつとめて。雪の降りたるは言ふべきにもあらず、霜のいと白きも、またさらでもいと寒きに、火など急ぎおこして、炭持てわたるも、いとつきづきし。」(訳:冬は早朝。雪が降っている朝は言うまでもなく、霜が大変白い朝も、またそうでなくても、非常に寒い朝に火などを急いでおこして、炭を持って運びまわるのも、大変似つかわしい。)といっています。